



本資料に記載された今後の見通し、戦略などは平成16年2月23日現在での弊社の判断であり、様々な要因の変化により、将来の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご了承ください。

Digital Garageグループ 第9期中間決算説明会

2004.02.23



株式会社デジタルガレージ



Real & **Cyber**
Local & **International**
Marketing & **Technology**
Present & **Future**

を結ぶ

Context Company

として

インターネット時代における
新しい日本の
生活・社会・産業への
ビジネスソリューション提供

DGのビジネスモデル



日本のインターネットビジネスを

IT/MT/FT の3つのコア機能を駆使し、プロデュース/インキュベート

1995

ISP

Portal

Media Rep

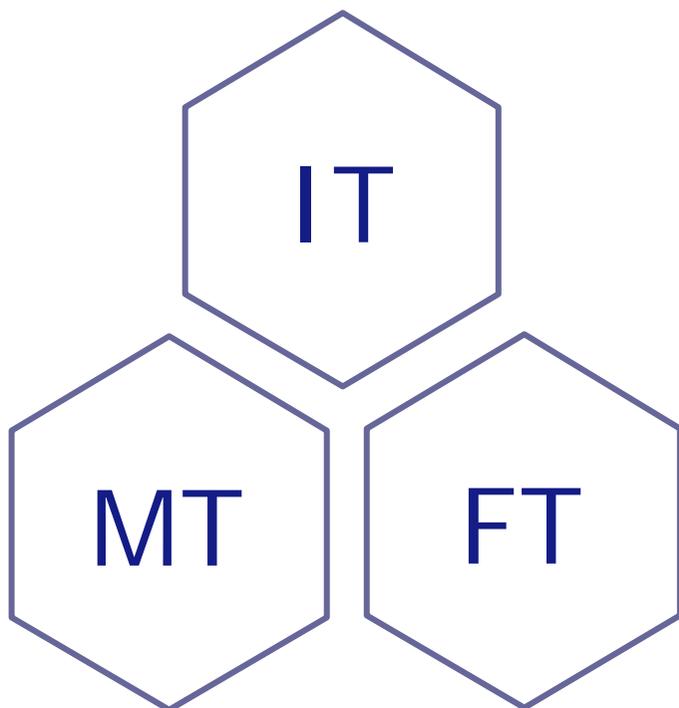
EC

CVS

BB

Mobile

2004



Information Technology

Marketing Technology

Financial Technology



< KEY CONCEPT >

FEDERATION MANAGEMENT

< DGグループ連邦経営 >

異なる企業体が独立して動くと同時に、

『全体としても協調・共振する企業グループの形成』

< 遠心力 ↔ 求心力 >

第9期 上半期のトピックス



デジタル・ネットワーク・アライアンス (株) (DNA) と資本 業務提携	2003年 7月
(株) イメージクエストインタラクティブ (IQI) に減資の上、増資	2003年 7月
(株) カカコムが東証マザーズへ上場	2003年10月
DGモバイル構想発表 / (株) セルシス と資本 業務提携	2003年10月
マーケットメイク銘柄からオークション銘柄へ移行	2003年11月
1:5の株式分割を発表	2003年11月
(株) イーコンテクトが2003年12月単月黒字を達成	2003年12月

(株) DGモバイルを設立 (セルシス/BUGとのJV)	2004年 2月
DG / DNA、NTT東日本 (株) とトライアルサービスを開始	2004年 2月



連結範囲と新セグメントの設定に関して



連結決算範囲

連結子会社

(株)カカクコム / (株)イーコンテクト

/ (株)クリエイティブガレージ / (株)イーコマース総合研究所

持分法適用関連会社

(株)ザイオン / (株)イメージクエストインタラクティブ / (株)アルク

グループ事業を [ソリューション事業] [プラットフォーム事業]
[コンテンツ事業] [ユビキタス事業] [MTC (インキュベーション)事業] の

5つのセグメントに分類

*ただし、[MTC (インキュベーション)事業] は会計上のセグメントとは別途表記

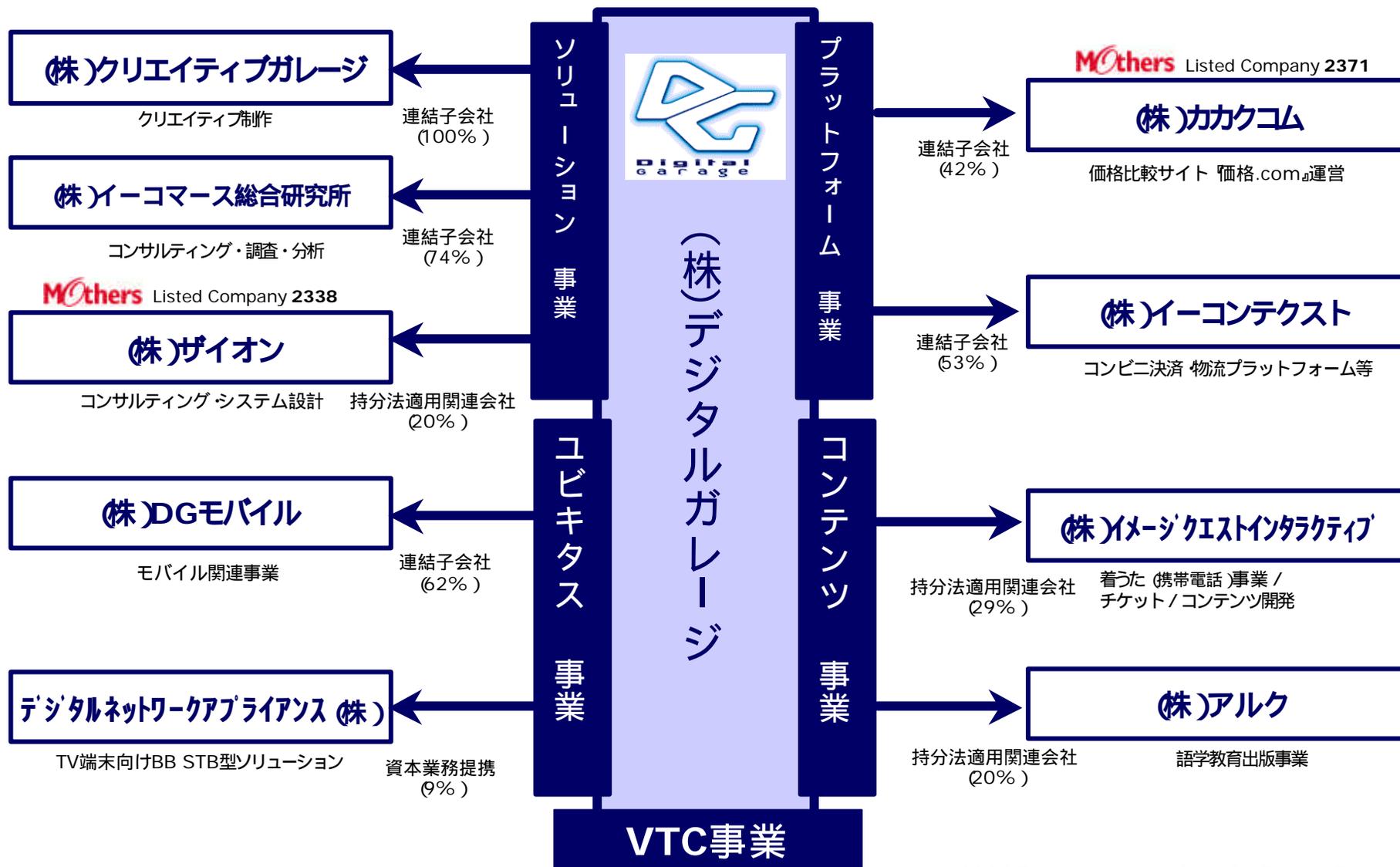


第9期 DGグループ会社の事業分類



DGモバイルとDNAの2社を コビキタス事業 としてあらたに分類し、 VTC (インキュベーション) 事業 を加え、
ソリューション事業 プラットフォーム事業 コンテンツ事業 の5事業セグメントに分類

context company



第9期中間決算状況



グループの再編 事業統合の加速 / 連邦経営標榜後初の連結黒字転換

< 要因 >

〔ソリューション事業〕の、主にマーケティングソリューション牽引による増収 (連単共に150%強)
 連結・単体共に売上高の順調な拡大基調を維持

/ 〔プラットフォーム事業〕は対前期比300%以上の伸長 (カカコム・イーコンテクト)

子会社カカコムの株式公開による持分変動益や増収増益効果

子会社イーコンテクトの創業以来初の2003年12月単月黒字化達成

持分法適用関連会社のうち、〔コンテンツ事業〕社は一定の成果を達成

連結 / 単体決算の推移

(単位:百万円)

区分	項目	2002年12月	2003年12月	対前期比
連結	売上高	1,187	2,242	188%
	経常利益	289	155	-
	当期利益	205	59	-
単体	売上高	902	1,354	150%
	経常利益	164	106	-
	当期利益	107	86	-



セグメント別の動向



context company
(単位:百万円)

	区分	項目	2002年12月	2003年12月	対前期比
ソリューション事業	連結	売上高	934	1,462	156%
		売上総利益	364	199	54%
	単体	売上高	857	1,354	157%
		売上総利益	325	158	48%
プラットフォーム事業	連結	売上高	253	780	307%
		売上総利益	192	553	286%
		評価益総計		投資残高計	投資会社数計
インキュベーション事業		13,512		2,590	13社

【ソリューション事業】は連結単体ともに対前期比150%強で推移

ITソリューションは、上半期ベースで対前期比50%弱にとどまる

MKソリューションは、対前期比900%強の大幅増収

【プラットフォーム事業】は対前期比300%強で推移

カカコムとイーコンテクストの貢献で大幅増収・増益

単体での【プラットフォーム事業】は、前期にて終了。すべてグループ会社での事業にシフト

【インキュベーション事業】はカカコムの株式公開で大幅な評価益を実現



VTC事業 : Venture Transformation Capital

(事業戦略支援型VC事業)

2003年12月末現在の活動成果 (トラックレコード)

DGは1995年8月に創業し、インターネットを中心とした市場において様々なビジネスに挑戦する過程で、VC (ベンチャーキャピタル)と類似した投資活動を行ってきました。このような活動は1996年の半ばから、約7年間にわたります。

既に売却済の投資

約19.1億円回収金額 (当初の投資金額 約3.3億円)

既に上場し評価益となっている投資

約135.1億円の評価益 (当初の投資金額 約11.5億円)

その他、現在未上場の投資

約14.3億円

10社

DG [インキュベーション事業]の実績サマリー



- 1996** infoseek日本導入支援 (1999 - USにディズニー資本参加により事業売却)
博報堂、ADK他大手広告代理店連合でJV設立 (DAコンソーシアム)
- 1999** イーコマース総研設立
- 2000** ローソン、TIS、三菱商事とJV設立 (イーコンテクト)
DGがJASDAQに上場
- 2001** DACがヘラクレスに上場
- 2002** カカコムを子会社化
IQIと資本提携、WebNaiton事業統合
アルクと資本・業務提携
- 2003** ZIONと資本提携、DSIを売却
クリエイティブガレージ設立
DNAと資本提携
カカコムが東証マザーズに上場
- 2004** セルシス / BUGとJV設立 (DGモバイル)



上期の [インキュベーション事業] のハイライト



(株)カカクコムへの追加投資

譲渡により取得 280株 9,800万円 3.2%の取得

(株)イメージクエストインタラクティブへの追加出資で持分法適用関連会社へ

第三者割当増資のより 10,000万円 500株 増資後の出資比率40.62%
なお、その後の増資で期末現在では29.05%

(株)カカクコムの東証マザーズ上場

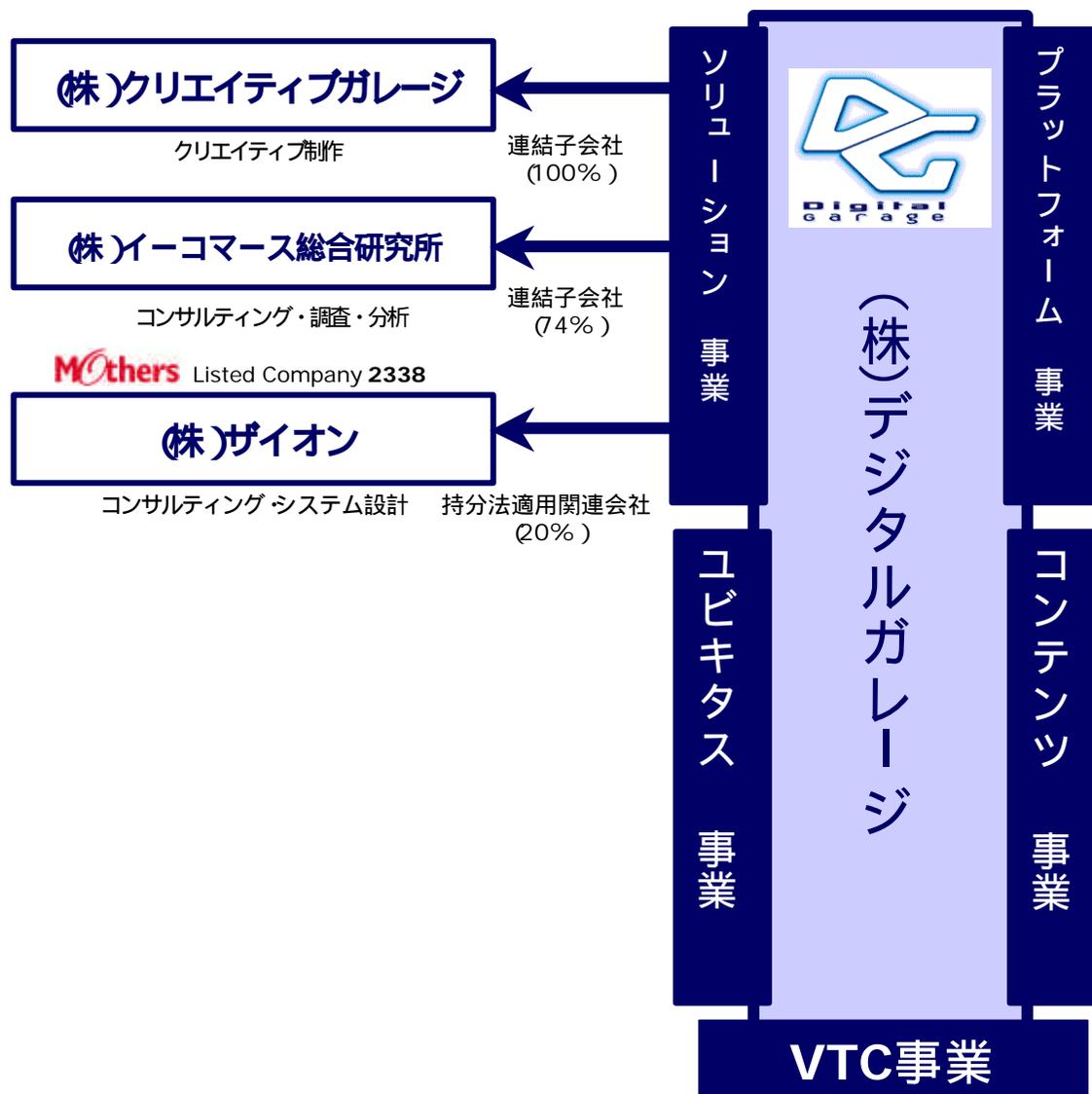
2003年10月9日 初値 420万円

(株)DGモバイルの設立

(株)セルシスの第三者割当増資に応じ 2,000万円 125株 2.79%の出資
2004年に、セルシス / BUGとモバイル端末向けコンテンツ関連事業等の
(株)DGモバイルの設立 出資比率 62.5%



第9期 DGグループ会社の [ソリューション事業]



MKソリューション事業は対前期比900%強の大幅増収で好調に推移
ITソリューション事業は、半期での大型案件の検収がなく、対前年比50%程度にとどまる

半期ソリューション事業の実績サマリー

NTT東日本 (株)

同社協賛のブロードバンド映像配信トライアルサービスを、DNA社の技術とともに、「Mojo」のフルカスタマイズ業務として実現。同様の仕組みを、B2B事業者・行政サービス企画等に提案開始

住商エレクトロニクス (株)

大規模ポータルサイトにおけるストリーミング映像サービスのソリューションとして「smoothy」のフルカスタマイズバージョンを実装

NTTBB (株)

ブロードバンド映像ポータルサイト「BROBA」の運用業務を継続的に対応しつつ、得意先事業再編に伴う新会社「NTTレゾナント(株)」より、「goo」と「BROBA」の統合移管業務を下期に向けて受託

(株)アルク 他

WEB・新聞・雑誌をMediaMixしたプロモーション業務は順調に拡大
 さらに、通信販売事業社に対する同様のCRMプロモーション業務も下期より開始予定

自社ソリューション

<p>ECサイト構築用ECエンジン</p>  <p>EC</p>	<p>BB向けコンテンツ管理・販売用ソフトウェア</p>  <p>smoothy™</p> <p>BB</p>	<p>検索エンジン販売・サポート</p>  <p>Ultraseek</p> <p>search</p>
<p>↓</p> <p>上期より、ASPでのサービスを開始 Eメールマーケティングでの開発実績拡大</p>	<p>↓</p> <p>フルカスタマイズでの大型案件に注力 上期より、STBを利用した大容量の コンテンツ配信システム開発に注力</p>	<p>↓</p> <p>官公庁を中心とする大手企業における社内 ドキュメント管理ツールとして定着。ライセンス 更新・ドキュメントUP業務等で安定的に推移。</p>

【ソリューション事業】 CRG / ECI / ZION



CREATIVE GARAGE

CREATIVE GARAGE

株式会社クリエイティブガレージ
広告グラフィックス、WEBデザイン等
<http://www.c-garage.co.jp/>
資本金：30,000千円
DG出資比率：100% (連結子会社)

事業概況

WEB制作業務に加えてグラフィック等オフライン業務も
好調、第1期決算と同様に半期決算も黒字化
今後の展開
・グループのマーケティング機能におけるクリエイティブ
中核会社として業容拡大予定

ECI

 eコマース総研

株式会社イーコマース総合研究所
企業のマーケティング&コミュニケーション活動に
関わる調査・研究・コンサルティング等
<http://www.e-com.co.jp/>
資本金：21,500千円
DG出資比率：74% (連結子会社)

事業概況

マーケティングリサーチ業務を中心に堅調に推移
今後の展開
・グループ機能を活用し、従来のマーケティングリサーチに加え、
D/Bマーケティング、CRM事業等を本格化する予定

ZION



MOthers Listed Company 2338

株式会社ザイオン
インターネットモバイル関連システム構築のコンサルティング、
プロジェクトマネジメント、システムおよびツールの開発販売
<http://www.zion-net.co.jp/>
資本金：458,000千円
DG出資比率：20% (持分法適用関連会社)

事業概況

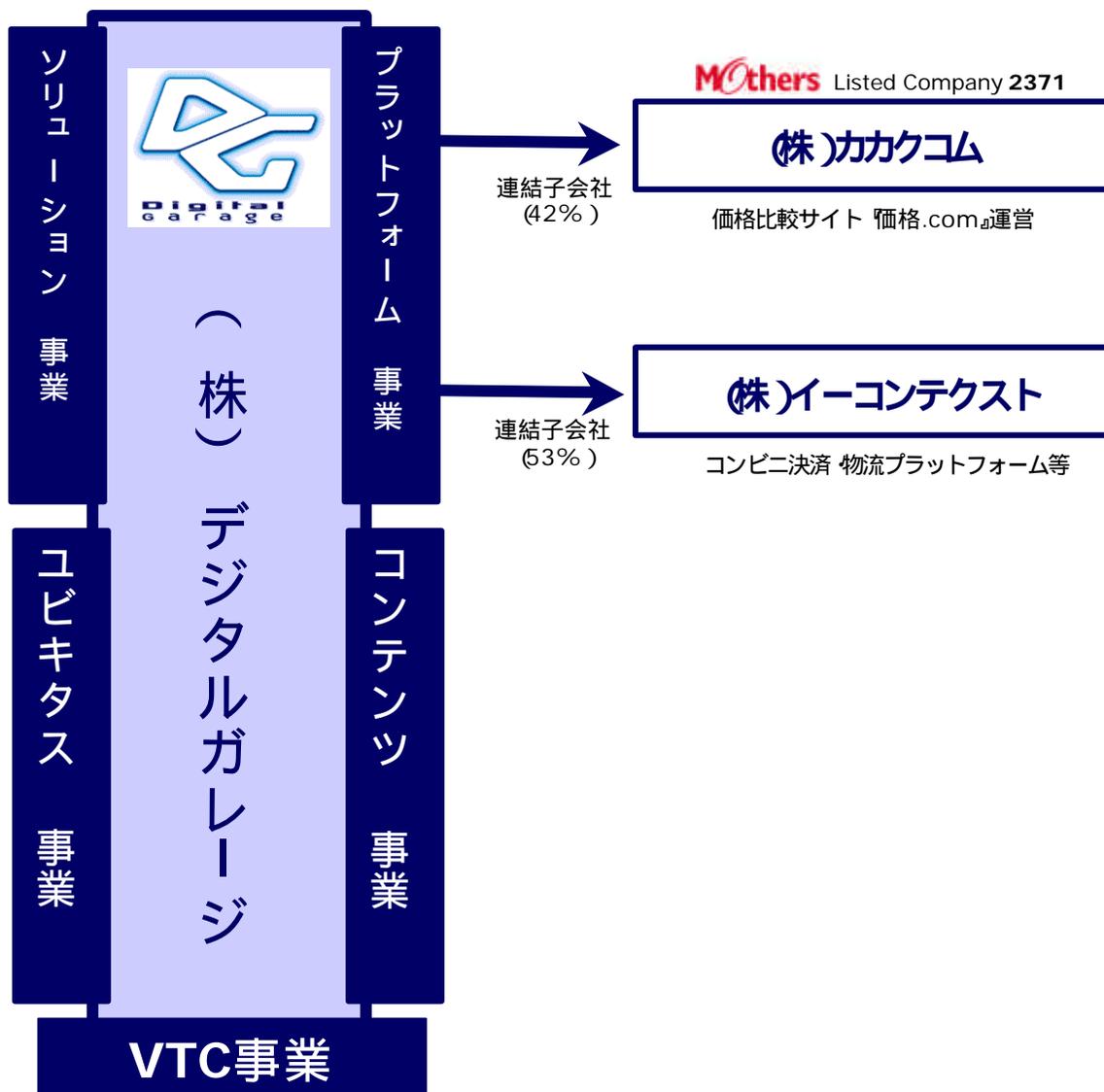
DSIの子会社化(平成15年6月)で、新体制の協調体制を構築中
DG本体とのIT構築業務における協業を推進
今後の展開
・ZIONグループとしての得意先開拓を強化



第9期 DGグループ会社の [プラットフォーム事業]



context company



[プラットフォーム事業] Kakaku.com



Kakaku.com

価格.com

株式会社カカコム
 価格比較サイト『価格.com』の運営
<http://kakaku.com>
 資本金：408,250千円
 DG出資比率：42% (連結子会社)

事業概況

2003年10月9日 東証マザーズに上場
 (証券コード2371)

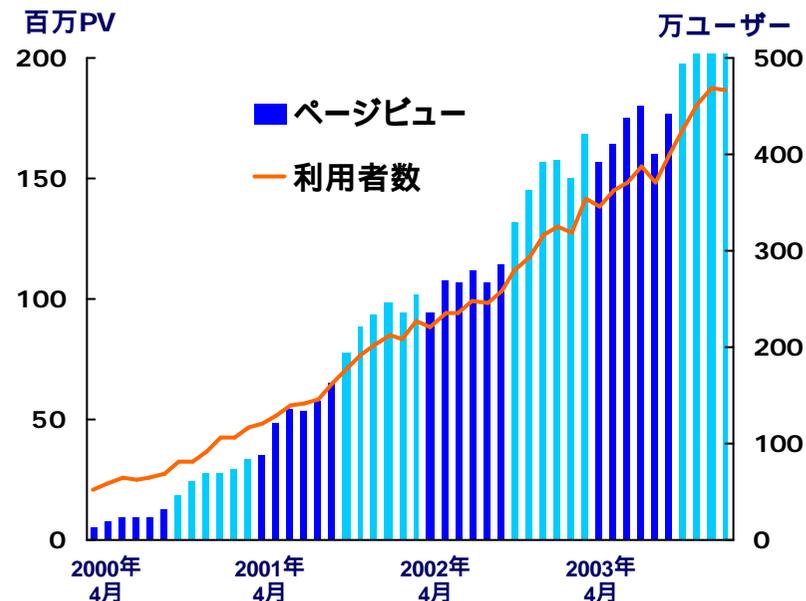
月間アクセス数は利用者460万人、
 ページビューは2億3千万を超える (04/2現在)

サイトの機能強化状況

- ▶ リニューアル (04/2)
- ▶ システム利用料の設定 (04/2)
- ▶ 携帯料金プラン比較 (03/12)
- ▶ 外国為替保証金取引サービス (03/12)

現在の「メディア」から来期以降は「購買エージェント」としての地位の確立をすべく、対ユーザー向けの機能を強化する

月間アクセス数の推移



業績の推移

	売上高	経常利益	当期利益
2004/3 3Q	887	333	189
2003/3期	603	220	127
2002/3期	257	102	53

(単位：百万円)



[プラットフォーム事業] econtext



ECONTEXT



株式会社イーコンテクト
 E・Mコマース事業者等に提供する、CVSを活用した
 決済 物流代行プラットフォームサービスの運営
<http://www.econtext.jp>
 資本金：261,490千円
 DG出資比率 :53% (連結子会社)

事業概況

2003年12月度、単月黒字達成

月間取扱高20億円を超える (03/12月)

提携コンビニ店舗数合計は約12,500拠点(03/12月)

株式会社ジャストプランニング (NASDAQコード
 4287)と資本・業務提携 (03/11月)

サービス拡充

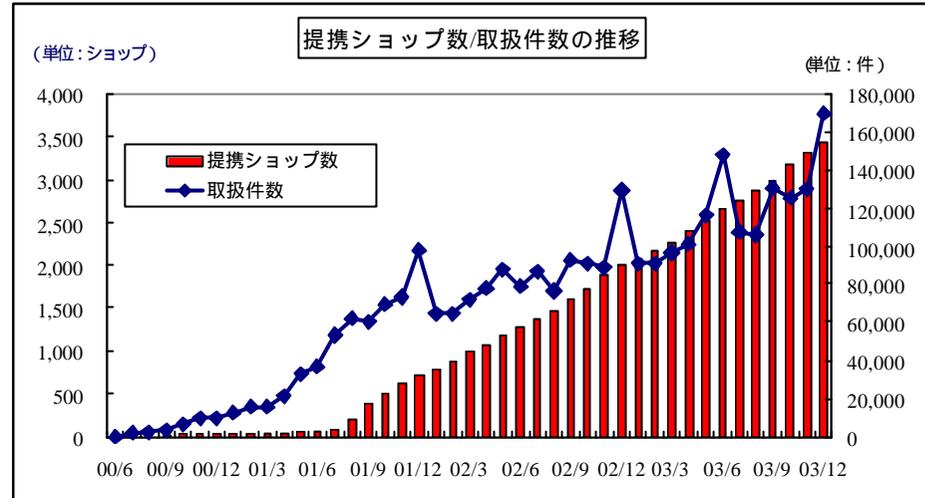
『ローソンお買物券』(04/2月)

各種ポイントを、全国7,600店のローソンで使える『お
 買物券』に交換できるサービス。各種プロモーション
 やアンケート謝礼など様々な用途でも利用可能。

『econtextゲートウェイ』(03/10月)

コンビニ払い・ネットバンク・クレジットカード・払込票・
 銀行振込・口座引落し・コンビニ受取・宅配など10種
 類の決済/物流を一元管理できるサービス。

提携ショップ数/取扱件数の推移

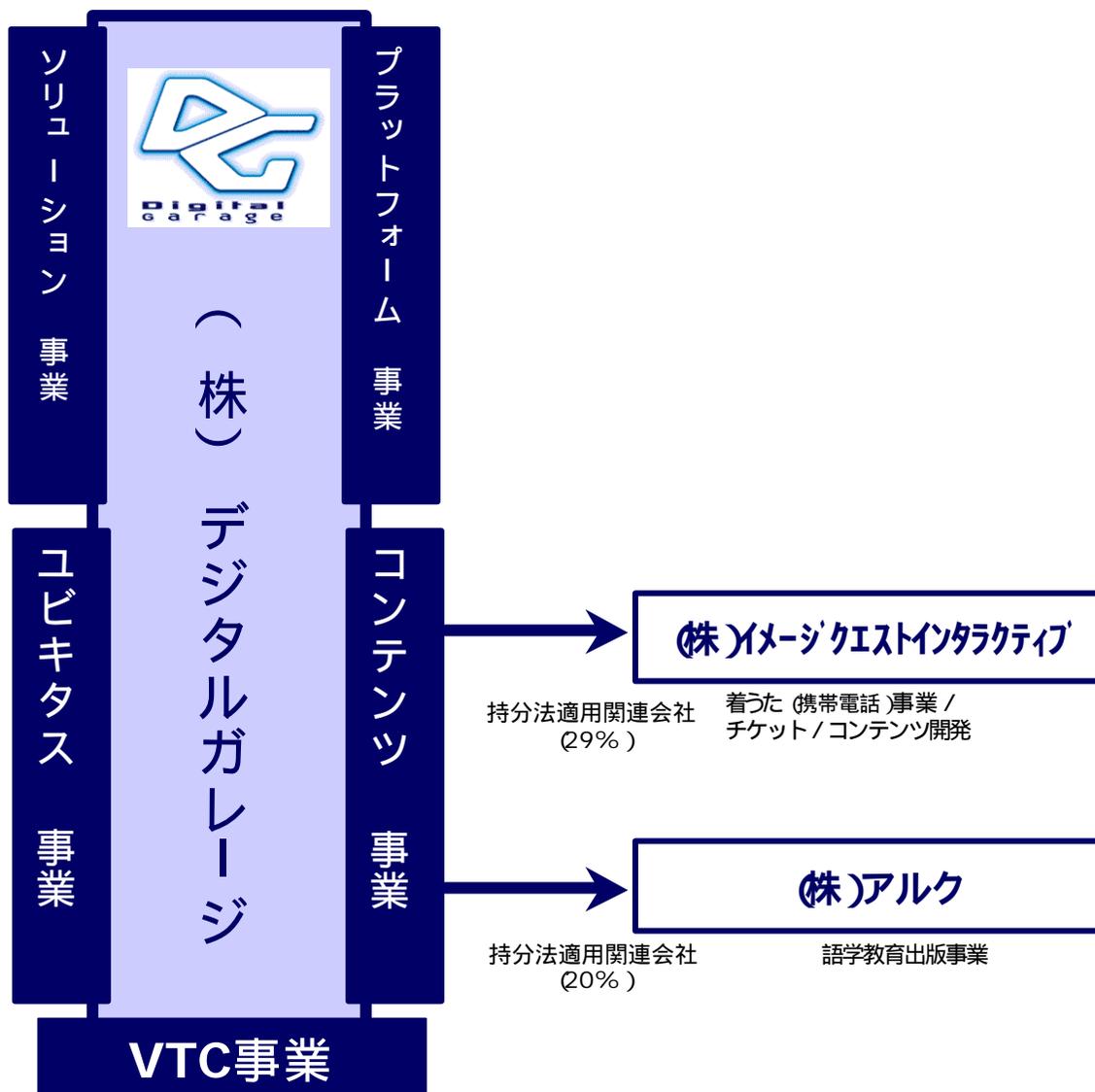


3年間の推移

	EMショップ数 (サイト)	取扱件数 (千件)	取扱高 (百万円)
03/12月	3,445 (172%)	170 (132%)	2,086 (133%)
02/12月	2,003 (275%)	129 (132%)	1,566 (166%)
01/12月	729	98	943



第9期 DGグループ会社の [コンテンツ事業]



【コンテンツ事業】 IQI



IQI



株式会社イメージクエストインタラクティブ
着うた (モバウタ) 事業 / チケット / コンテンツ開発
<http://www.iqi.co.jp>
資本金 : 173,800千円
DG出資比率 : 29% (持分法適用関連会社)

エンタテインメント業界に特化したeマーケティング会社

第1事業 モバイル事業

着うた (モバウタ) 事業
モバイルコマース
CD、DVD、グッズの販売支援
ファンクラブの運営管理支援

第2事業 チケット事業

コンサートチケットの販売管理
エンタテインメント関連、旅行の企画運営

第3事業 コンテンツ開発事業

Indiesmusic.com
WebNation
コンテンツ開発

事業概況

2003年7月に減資の上、増資
DGの持分法適用会社として新体制で事業を開始
エンタテインメント関連のモバイル事業を次の戦略
事業として注力中
DGとの協業で、Mコマース事業を拡充
DGモバイルとの協業で携帯コンテンツビジネスを拡充
イーコンテクトとの協業でチケット事業を拡充

3年間の半期決算の推移

	売上高	前期比
	(百万円)	
2003/11月期	697	157%
2002/11月期	444	159%
2001/11月期	278	-



[コンテンツ事業] - ALC



ALC



株式会社アルク

<21世紀のデジタルネットワーク・パブリッシャー>

英語を中心とした語学の通信教育事業・出版事業等の

<http://www.alc.co.jp/>

資本金 :40,000千円

DG出資比率 :20% (持分法適用関連会社)

関連会社

株式会社アルク教育社

資本金 :10,000千円

オンライン教材「NetAcademy」の販売

国内企業約2,300社に教材・研修を提供

株式会社スペースアルク

資本金 :122,500千円

アルクのポータルであるSPACE ALC の運営

事業概況

一部分割後、2003年6月にスタートした新会社(株)アルクは
事業再編・効率化の効果を発揮。

子供向け英語教育分野・韓国語等の伸長

オンライン教材「NetAcademy」の販売も好調に推移

アルクのポータルであるSPACE ALC は月間7,000万PVに
成長、イーコマース・インターネット広告ともに好調に推移

アルク新社の半期業績

売上高

(百万円)

3,386

経常利益

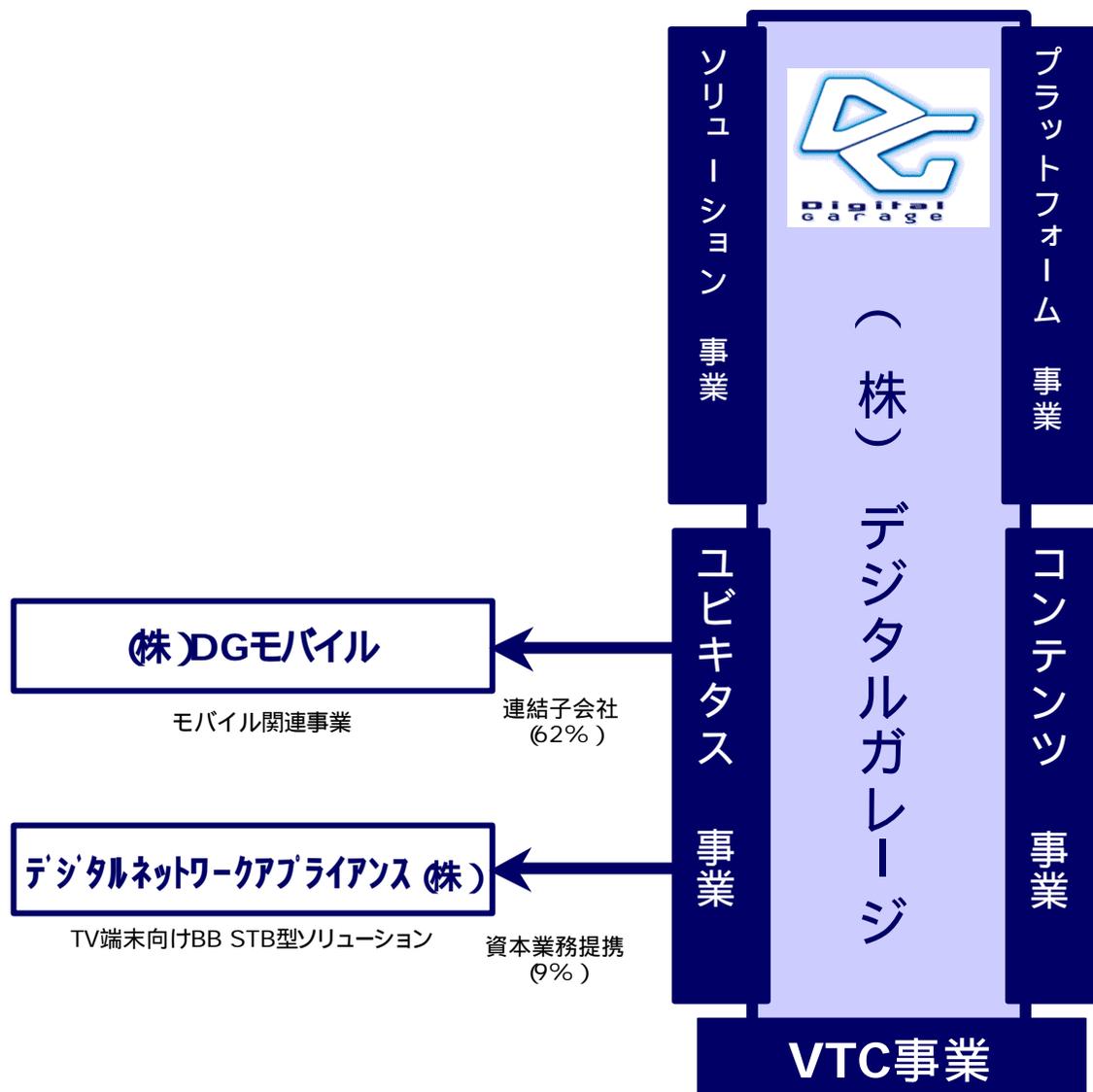
(百万円)

352

2003/11月期



第9期 DGグループ会社の [ロビキタス事業]



ロビキタス事業] - DGモバイル



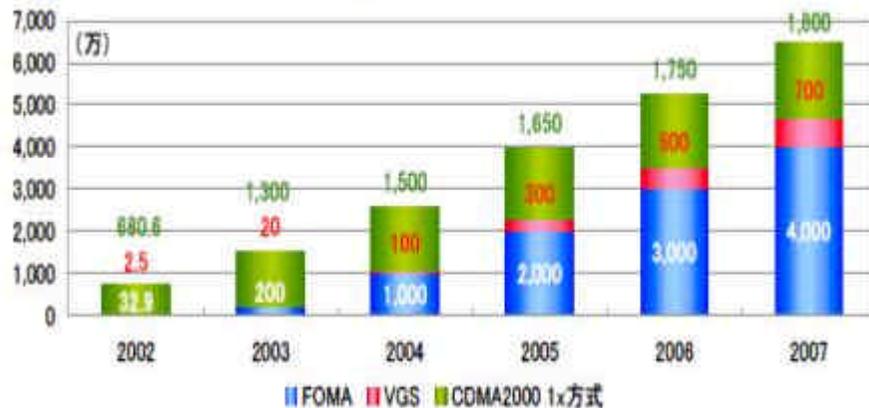
DG Mobile



株式会社DGモバイル
 3G携帯電話を主としたモバイル端末向けコンテンツ関連事業、
 コマース関連事業、広告関連事業、海外事業
<http://www.dgmobile.co.jp>
 資本金：80,000千円
 DG出資比率：62% (連結子会社)

第三代携帯電話の普及予測

図：3Gユーザ数の推移と予測 (エムレポート推定)



2003年度1,520万、2007年で現行のPDC方式と入れ替わる規模の6,500万台普及

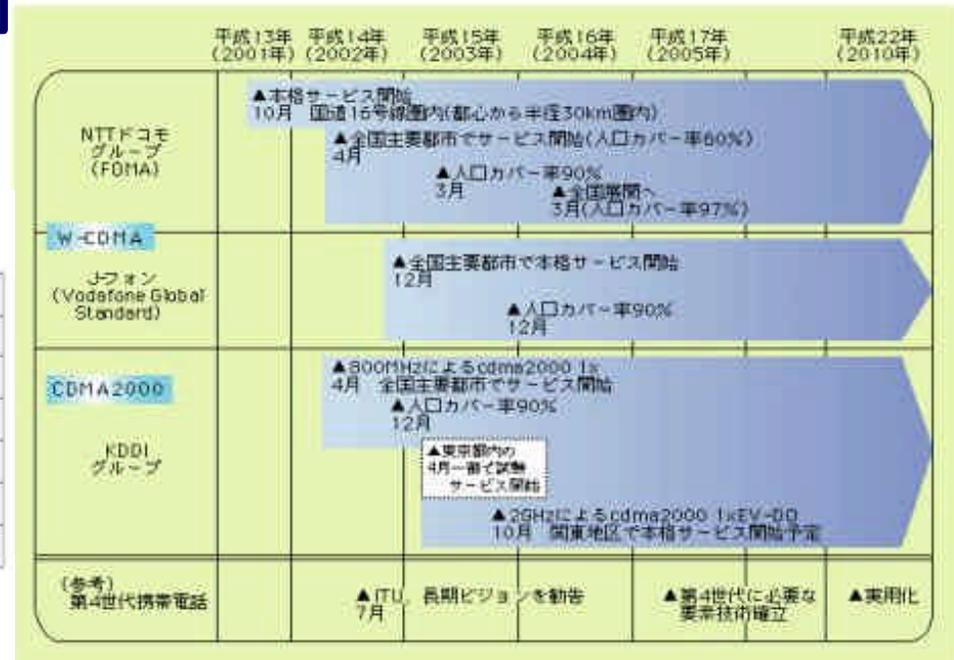
事業概況

2004年2月3日 設立

「モバイル・コミック・ソリューション」の提供を開始

「モバイル・コミック・ソリューション」のオリジナルコンテンツ
 ツアグリゲーション開始

2月23日 中国地域における3Gコンテンツ事業で(株)
 ジェー・シー・ディ(中国)、EZ Mobi (台湾)と提携



【ロビキタス事業】 - DGモバイル



context company

DGモバイルの事業領域

モバイル・コンテンツ事業分野

・02年で2,000億規模。
08年に3,700億に拡大予測
(NRI調査)

・3G化 (高速化、定額パケット)
により最大の変化。

着メロー→着うた (03年5,000万曲
がダウンロード)
待受け→コミック、アニメ、動画など
の「リッチコンテンツ」化

「モバイル・コミック」
統合プラットフォーム
の提供による

3Gリッチコンテンツ
市場の開発を開始

モバイル・コマース事業分野

・03年で1,900億規模。
07年に1兆4,000億に拡大
予測 (経産省)

・3G化 (高速化、定額パケット)
により普及が加速。
(PCでのBB化による効果と同様)

既存メディア (TV・ラジオ、出版
など) との連動が加速。

既存メディア連動型
m-コマース・システ
ムの提供

モバイル・広告事業分野

・02年で50億規模。
(03年倍増予想 電通)

・3G化によりリッチ・コンテンツ化

既存メディア (TV・ラジオ、出版
など) との連動が加速。

「モバイル・コミック」
統合プラットフォーム
の提供による

3Gリッチ・コンテン
ツ広告の提供

強力なパートナーング
3Gリッチコンテンツ&
技術の世界展開

日本マンガコンテン
ツのライセンス

海外モバイル事業分野

<海外携帯市場>
欧州3億台 (02年)
米国1.4億台 (02年)
韓国3,200万台 (02年)
(内 3G1,900万台)
中国2.7億台 (03年)
(台湾2,400万台
普及率107%)
・3Gにより共通化加速

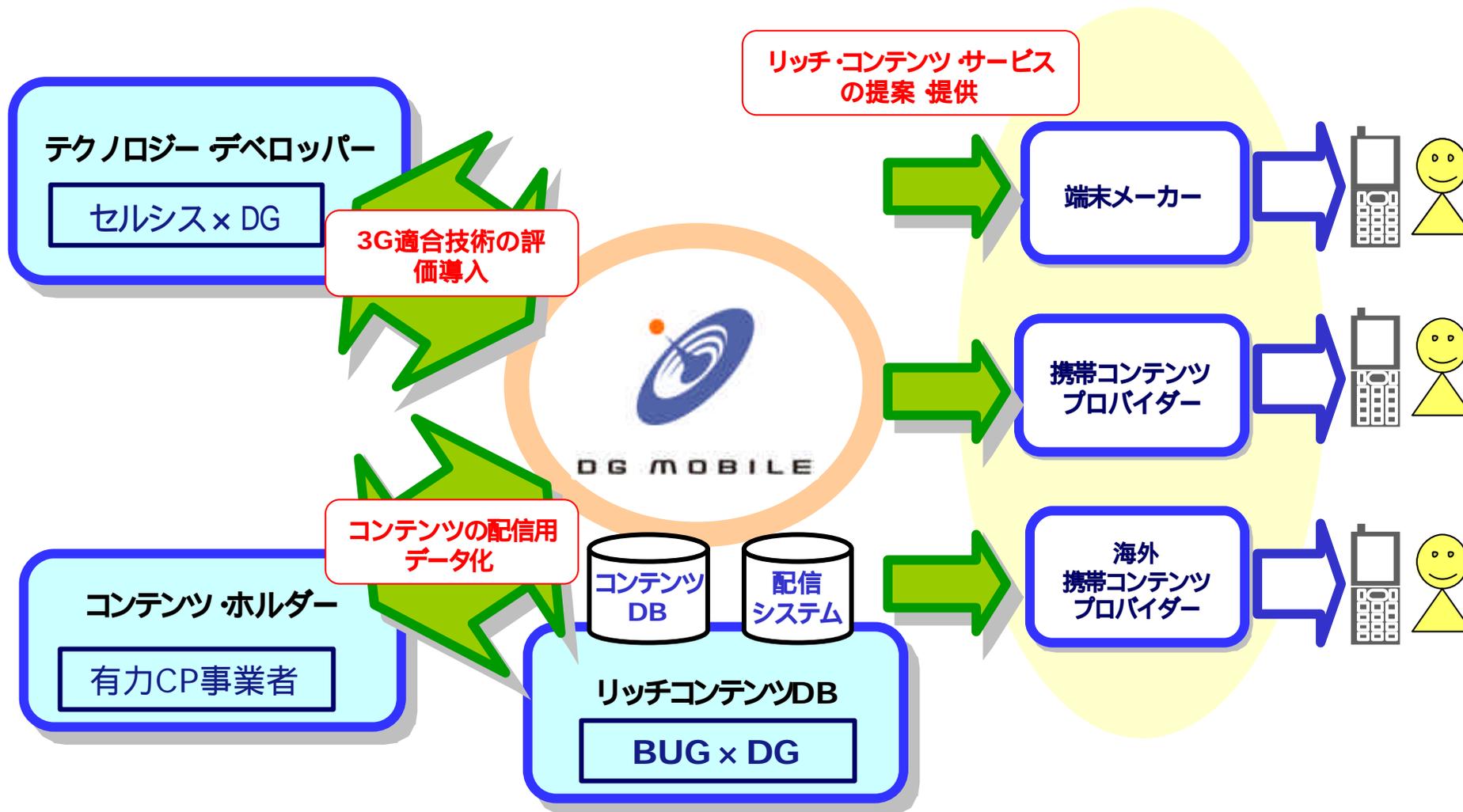


[ロビキタス事業] - DGモバイル



DGモバイルのビジネス・スキーム

- モバイル・コンテンツ事業分野 -



ロビキタス事業] - DNA



context company

Digital Network Appliance



オンライン・ビデオ事業「スーパービデオ」

デジタルネットワークアプライアンス株式会社
BB-TV向けi-DVPシステム技術
<http://www.dnainc.co.jp>
資本金：452,940千円
DG出資比率：9%

2月1日より首都圏NTTBフレッツユーザー対象にトライアルサービス開始。NTT東日本協賛・マルチメディア振興センター後援

iDVPシステムの特徴

放送業界標準のデジタル圧縮技術MPEGを採用したTV端末向けWWW (World Wide Web) システム

セキュアなダウンロード方式でサーバー・ネットへの投資がPC並みで実現

ソフトウェアでの制御可能な動画処理専用半導体メディアプロセッサを搭載したLinux仕様マシン

ハイビジョン方式を実現。HDコンテンツの普及似合わせたアップグレード可能

ダウンロードをしながらTVで再生可能なプログレッシブ方式を唯一実現

放送・DVD以外の動画番組も自由に配信。デジタル・コンテンツ流通のプラットフォームを構築



事業概況

創業者棚橋・DG齋藤の両代表体制

smoothyを移植、DNA-CMSを標準化採用

日立製作所の第三者割当増資を受け入れ、次期バージョンでの日立製メディアプロセッサを採用



Copyright © 2004 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

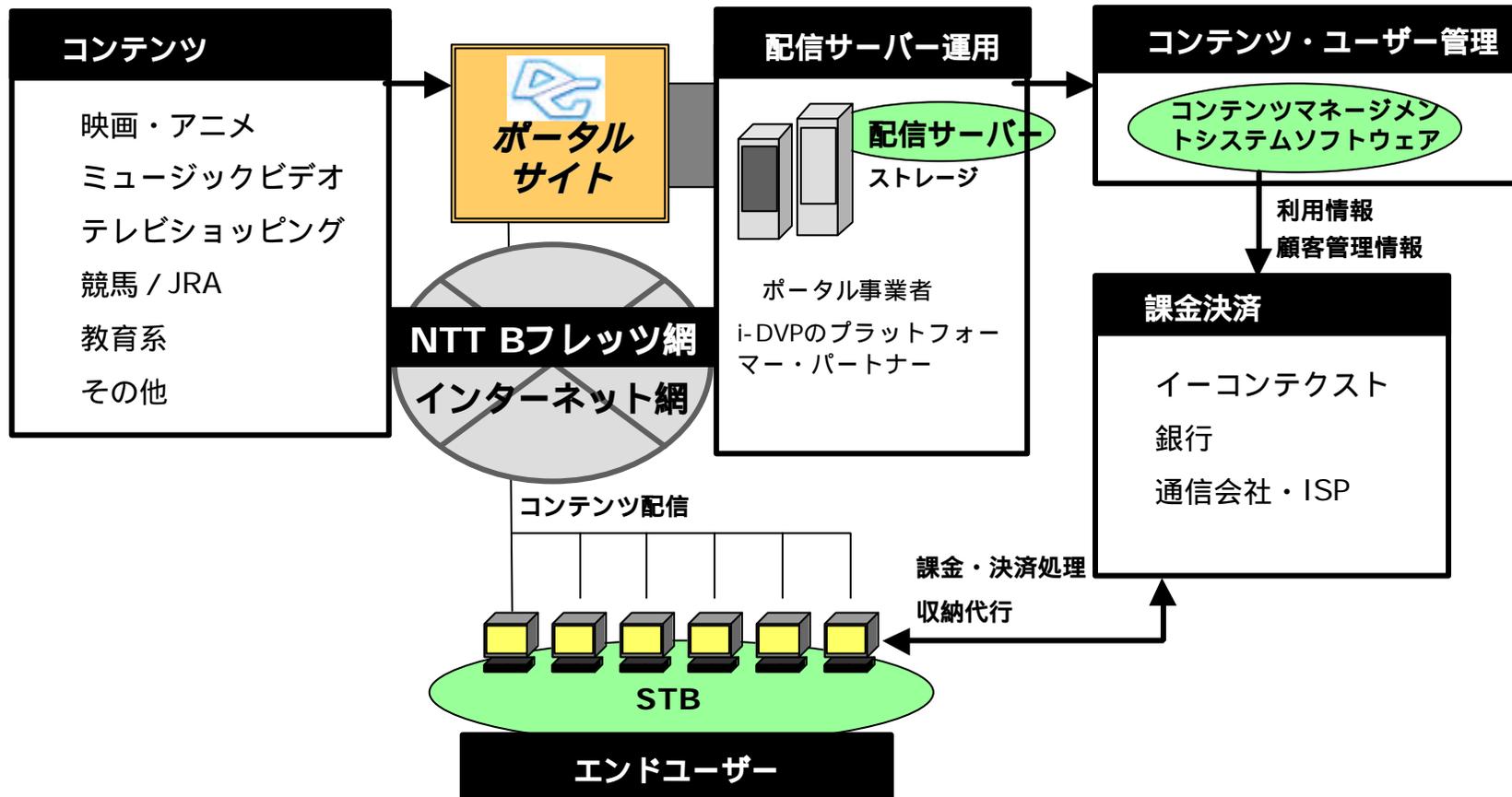
DNA i-DVPシステム・コンポーネント



context company

DNAは、オンライン・ビデオ事業者をプラットフォーム・パートナーとしたテレビ端末向けのビデオオンデマンドサービスのプラットフォームを提供

<システム構成概要図>

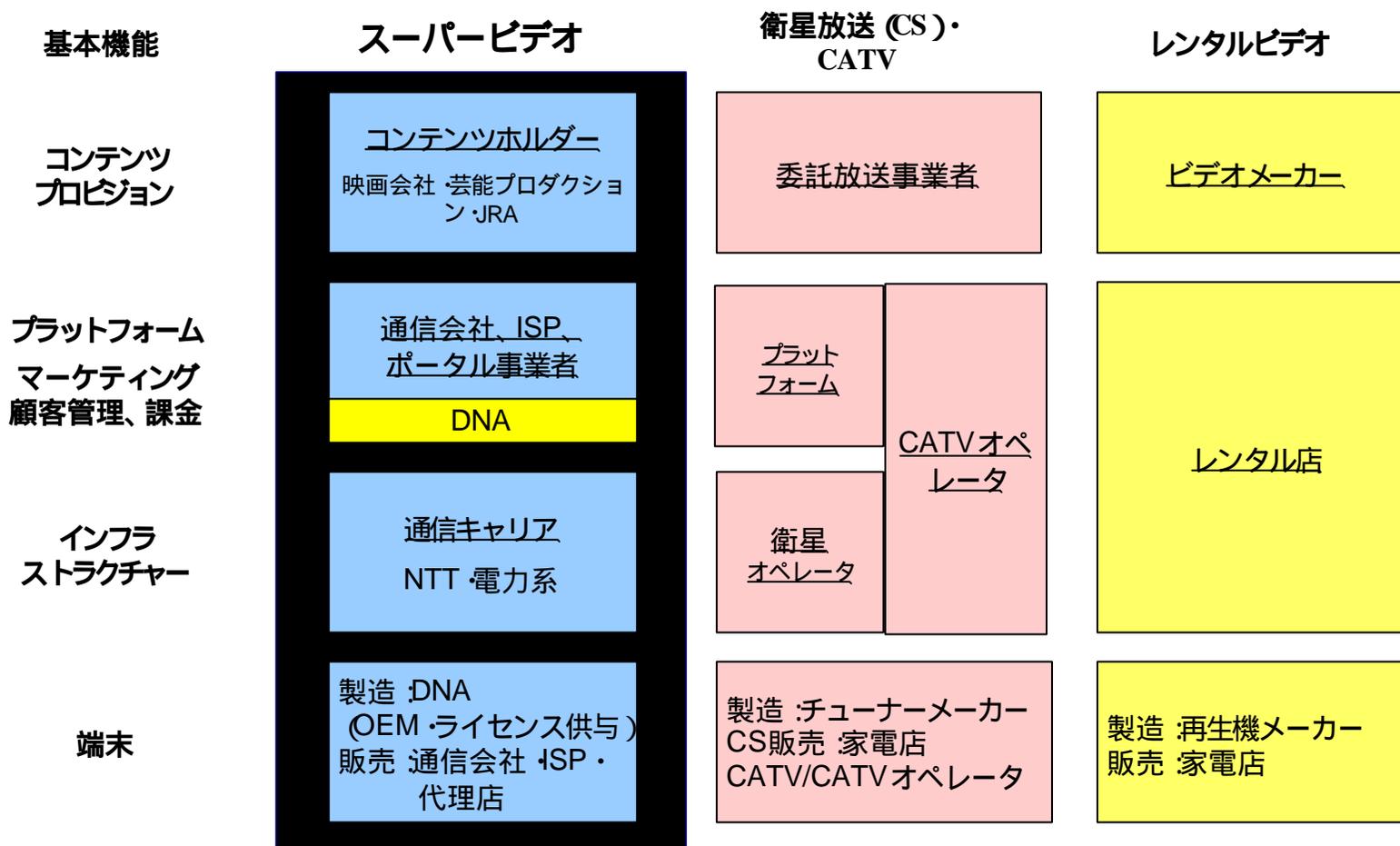


スーパービデオの類似ビジネスとの比較



放送と通信の融合がもたらす、次世代型 / web型のオープンなビジネスモデルを実現

DNAは、端末規格、IDカード管理により、デジタル・コンテンツ流通のプラットフォームを提供



今後の事業展望



グループ連邦経営の更なる進化・発展

< 重点事業 >

【ソリューション事業】に続き

安定発展期に入りつつある 【プラットフォーム事業】の更なる拡大

新セグメントの 【ユビキタス事業】 【コンテンツ事業】の早期確立

NTT東日本とトライアルサービスを開始したDNA事業の本格展開

連結子会社DGモバイルを中核とした、第3世代携帯ビジネスへの注力

【MTC (事業戦略支援型VC)事業】の深化・拡大

グループ3社の早期の株式公開とグループの時価総額拡大

DGグループ 第9期上半期の業績概要



< 5つのセグメント別業績 >

(単位: 百万円)

	グループ合算売上高		連結売上高		連結当期利益
	金額	構成比	金額	構成比	金額
全体	6,423	100%	2,242	100%	59
ソリューション事業	1,510	24%	1,462	65%	136
プラットフォーム事業	791	12%	780	35%	260
コンテンツ事業	4,084	64%	-	-	65
ユビキタス事業	-	-	-	-	-

	評価益総計	投資残高計	投資会社数計
VTC事業	13,512	2,590	13社



DGグループのビジネス戦略



context company

1995 インターネット黎明期 2000 Eビジネス黎明期 2004 ビジネス=Eビジネス 2007

ナローバンド/PC
会社に1台 家庭に1台
商用インターネット
失われた10年
WEB

ブロードバンド/携帯
一人3台 (会社・家庭・携帯)
ネット・ビジネス
デフレ経済
Eコマース

ブロードバンド/ネット家電
ユビキタス社会
オンデマンド・ビジネス
企業再生
アウトソーシング

創業期

単体経営

グループ連邦経営

創業

D
G
上
場

D
A
C
上
場

カ
カ
ク
コ
ム
上
場

.....
グループインキュベーション
VTC事業強化

ユビキタス事業

コンテンツ事業

プラットフォーム事業

インキュベーション事業 → VTC事業

ソリューション事業



中期グループ経営指標



< 企業価値指標 >

グループ企業の時価総額の合計 **2,000億円**

* 2003年12月現在 600億円

< 市場影響度指標 >

グループ企業の月間PV **20億PV / 月**

* 2003年12月現在 3億PV / 月

グループ企業のユニークユーザー数 **2,000万ユーザー**

* 2003年12月現在 600万ユーザー

グループ企業の年間取扱金額 **4,000億円 / 年**

* 2003年12月現在 1,300億円 / 年

